

自然災害等により道路等が通行不能な場合の復旧策【P】

- 避難開始前の段階で、避難計画で避難経路として定められている道路等が、自然災害等により使用出来ない場合は、福井県、おおい町、小浜市は、代替経路を設定するとともに、道路等の管理者は復旧作業を実施。
- 高速道路及び直轄国道については、国土交通省近畿地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が、早急に被害状況を把握し、迅速かつ的確な道路啓開、仮設等の応急復旧を行い、早期の道路交通の確保等に努める。

<直轄国道>

国土交通省近畿地方整備局が
応急復旧作業を実施。

<舞鶴若狭自動車道>

高速道路会社(NEXCO)が応急復旧作業を
実施。

福井県災害対策本部

<福井県の管理道路>
福井県災害対策本部が応急
復旧作業を実施。



<京都府の管理道路>

京都府災害対策本部が応急
復旧作業を実施。

京都府災害対策本部

滋賀県災害対策本部

- 災害発生時には、各管理道路のパトロールを実施し、被害の状況等を把握
- 道路の被害状況を踏まえ、国、府県、高速道路会社がそれぞれ建設業協会等と締結している協定等をもとに、応急復旧工事を実施

福井県における降雪時の避難経路の確保【P】

- 福井県は近畿地方整備局や関係機関等との協議を踏まえ、道路雪対策基本計画を定め、短期間の集中降雪による局地的大雪の発生等に柔軟に対応できる体制を整備。
- 福井県は県内外へのアクセス路線となる高速道路ICと主要国道を結ぶ路線や原子力発電所と国道27号を結ぶ幹線道路等を最重点除雪路線と定め、除雪を重点的に実施。
- 高速道路及び直轄国道については、国土交通省近畿地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が、除雪体制の強化を図り各関係機関の緊密な連携の下、各機関の除雪計画に基づき、適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。



除雪機器の保有台数		平成27年3月時点
国(近畿地方整備局) ※福井県内の配備数		55台
福井県		249台
関係市町〔 おおい町、小浜市、高浜町、若狭町、美浜町 〕		34台
高速道路会社(NEXCO) ※2		70台
民間		1,479台

※2 NEXCO中日本 敦賀保全サービスセンター、福井保全サービスセンターの保有台数。なお、舞鶴若狭自動車道の小浜IC以西はNEXCO西日本の管轄であり、除雪機器についてはP38を参照。

京都府における降雪時の避難経路の確保【P】

- 京都府は毎年度除雪計画を定め、路線の重要性等を考慮してあらかじめ除雪路線を定め、緊急時については当該路線毎の除雪目標に従い、除雪を実施。京都縦貫自動車道等については、京都府道路公社が、雪氷対策要領に基づき、迅速かつ適切な雪氷作業を実施。
- 高速道路及び直轄国道については、国土交通省近畿地方整備局及び高速道路会社（NEXCO）が、除雪体制の強化を図り各関係機関の緊密な連携の下、各機関の除雪計画に基づき、適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。

除雪機械(例)



UPZ

- 京都縦貫自動車道
- 国道27号
- 舞鶴若狭自動車道

※主要な府道について、積雪深概ね10cmを基準に除雪開始



除雪機器の配備台数(民間借上を含む) 平成27年3月時点

国(近畿地方整備局) ※京都府内の配備数	21台
京都府	276台
関係市町 舞鶴市、綾部市ほか	140台
京都府道路公社	17台
高速道路会社(NEXCO) ※2	56台

※2 NEXCO西日本福知山高速道路事務所、京都高速道路事務所の保有台数

滋賀県における降雪時の避難経路の確保【P】

- 滋賀県は【新規作成】。
- 高速道路及び直轄国道については、国土交通省近畿地方整備局及び高速道路会社（NEXCO）が、除雪体制の強化を図り各関係機関の緊密な連携の下、各機関の除雪計画に基づき、適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。



除雪機械(例)



除雪機器の配備台数(民間借上を含む) 平成27年3月時点	
国(xx地方整備局) ※滋賀県内の配備数	
滋賀県	
関係市町 高島市	
滋賀県道路公社	
高速道路会社(NEXCO) ※2	

3月11日目途に
確認中

※2 NEXCO西日本福知山高速道路事務所、京都高速道路事務所の保有台数

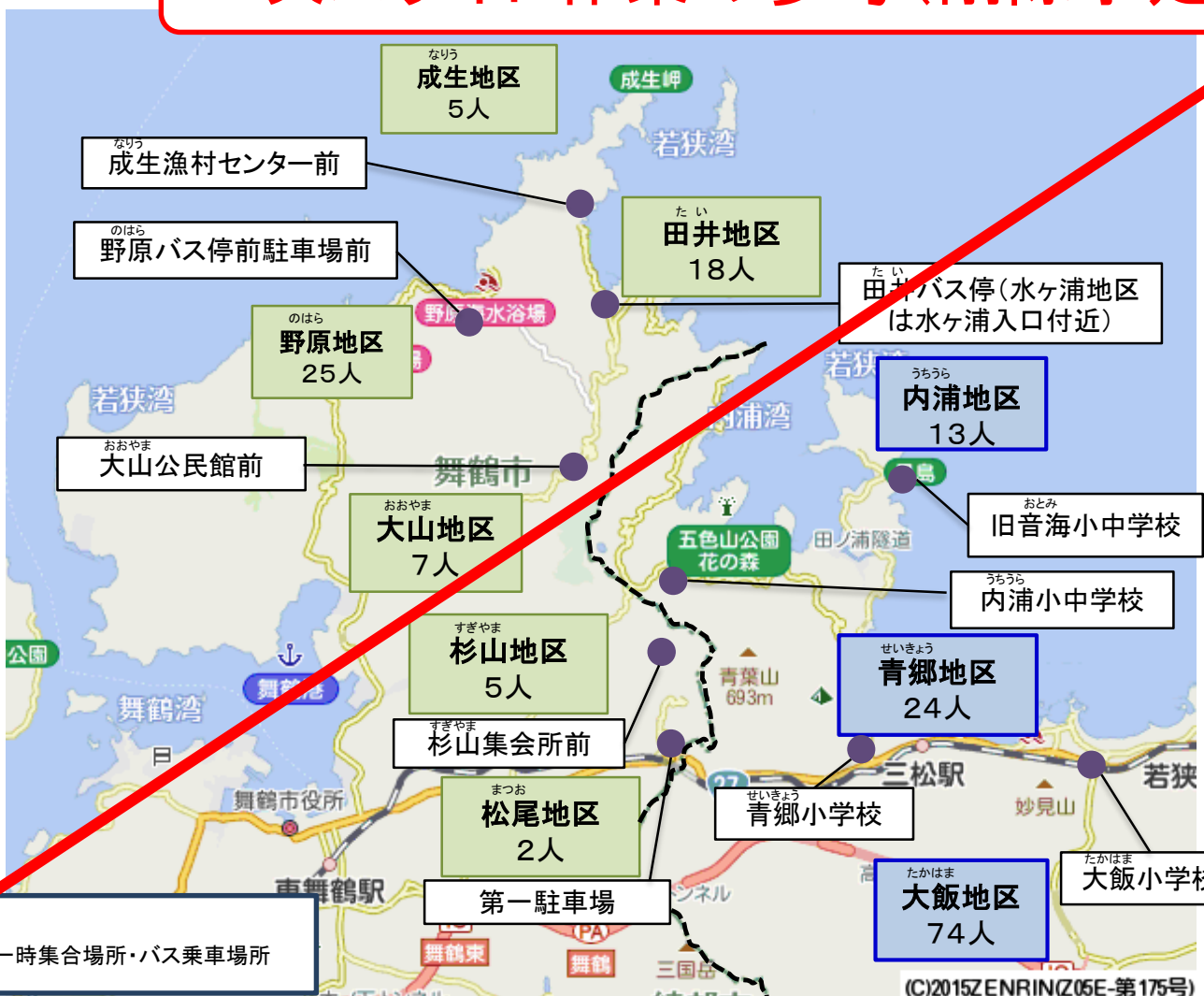
4. PAZ圏内の全面緊急事態 における対応

<対応のポイント>

1. 自家用車による避難ができない住民の移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先施設の受入れ体制を整えること。
3. 安定剤素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。

- おおい町、小浜市によるアンケート調査の結果、両地区における自家用車で避難できない住民は合計111人。
- 舞鶴市による相対では、舞鶴市の各地区における自家用車で避難できない住民は合計62人。

次スライド作業の参考(削除予定)



地区	人数	
大飯町	青郷地区	24人
	内浦地区	13人
	大飯地区	74人
	計	111人
舞鶴市	松尾地区	2人
	杉山地区	5人
	大山地区	7人
	田井地区	18人
	成生地区	5人
	野原地区	25人
	計	62人
合計 173人		

(凡例)
● : 一時集合場所・バス乗車場所

※人数は平成26年4月1日現在
※大飯町においては、アンケート結果による数値。舞鶴市においては、在宅の避難行動要支援者を除く各地区の人口のうち9割が自家用車で避難すると想定

おい町及び小浜市におけるPAZ圏内の住民の避難先

- おおい町／大島地区、小浜市／内外海地区住民の避難については、福井県内及び県外において避難先を確保。地域コミュニティの確保と行政支援継続の観点から、県内避難を基本とする。
- 両地区における避難先については、平時から避難計画に関する住民説明会や有線テレビ放送を通じて住民に周知。

おおい町大島地区 748人
(全 7区)

小浜市内外海地区 269人
(堅海、泊 2区)

合計 1,047人



兵庫県

大飯原子力防災センター
(福井県大飯オフサイトセンター)

避難元	避難先	
おい町 大島地区	川西市	・加茂小学校 ・久代小学校 ・桜が丘小学校 ・川西小学校
小浜市 内外海地区	姫路市	・夢前ふれあいの館 フレンド

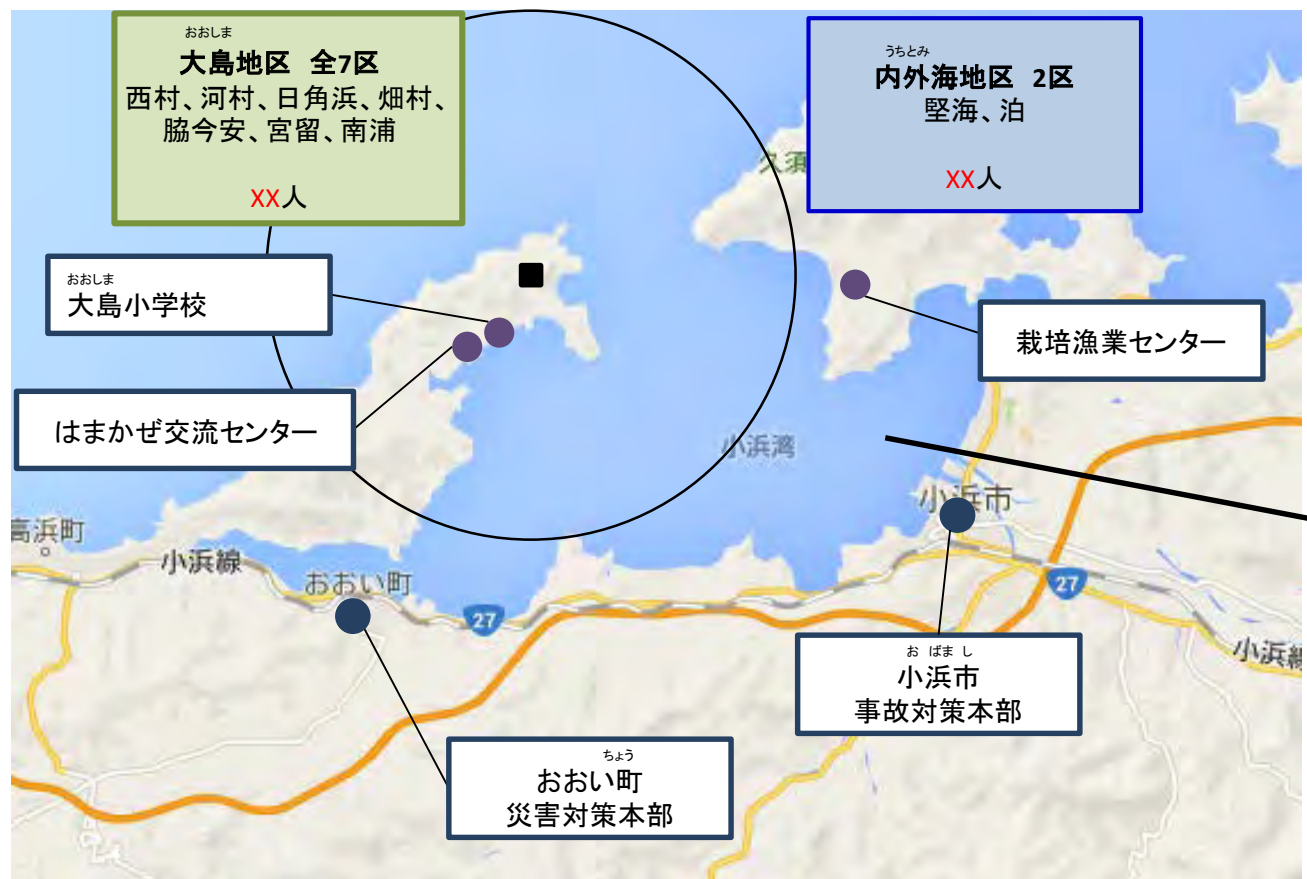
避難元	避難先施設
大島地区	・敦賀市立栗野中学校
内外海地区	・福井県立武生商業高等学校 ／越前市

<避難方法>

- ① 自家用車
- ② バス等の車両による避難
- ③ 船舶、航空機等による避難⁶

➤ おおい町、小浜市によるアンケート調査の結果、両地区における自家用車で避難できない住民は合計xxx人。

自家用車で避難できない住民の集合場所



地区		人数
おおい町	おおしま 大島地区	人
	うちとみ 内外海地区	人
合計		人

小浜市: 今後作業予定
おおい町: 今後作業予定

※人数は平成xx年x月x日現在
※おおい町においては、アンケート結果による数値。小浜市においては、在宅の避難行動要支援者を除く各地区の人口のうち9割が自家用車で避難すると想定

(凡例)
● : 一時集合場所・バス乗車場所

➤ PAZ圏内の観光施設における日間入場見込み人数は1,343人程度、民間企業は存在しない。

<PAZ圏内の観光施設の状況>

地区名		施設	入場見込人数(人)
おおい町	大島地区	赤礁崎オートキャンプ場	729
		あかぐり苑地	355
		あかぐり海釣り公園	259
		計	1,343人
小浜市	内外海地区(堅海、泊)	—	—
		計	

※福井県については入場ピーク時(8月)の入場者数を基に算定

[合計] 1,343人

<PAZ圏内の民間企業(従業員30名以上)の状況>

地区	民間企業	従業員数(人)
おおい町 大島地区	飲食料品小売業(x社)	
	家具・装備品製造業(x社)	
	医療業(x社)	
	社会保険・社会福祉・介護事業(x社)	
合計		

地区	民間企業	従業員数(人)
小浜市 内外海地区	総合工事業(x社)	
	家具・装備品製造業(x社)	
	その他の事業サービス業(x社)	
合計		

内外海地区に、発電所関連以外で、従業員30人以上の規模の事業所なし

大島地区内に、発電所関連以外で、従業員30人以上の規模の事業所なし